

第16期 研究会

○日時：2021年11月22日（月） 14:20～16:30

○開催方法：豊洲会場およびZOOMによるオンライン開催

○研究会テーマ 「VISA発給再開にむけて」

1. フィリピン側の状況について
2. 入国に関して
3. 特定技能の状況について
4. 今後の体制
5. 新たな取り組み

【1. フィリピン側の状況について】

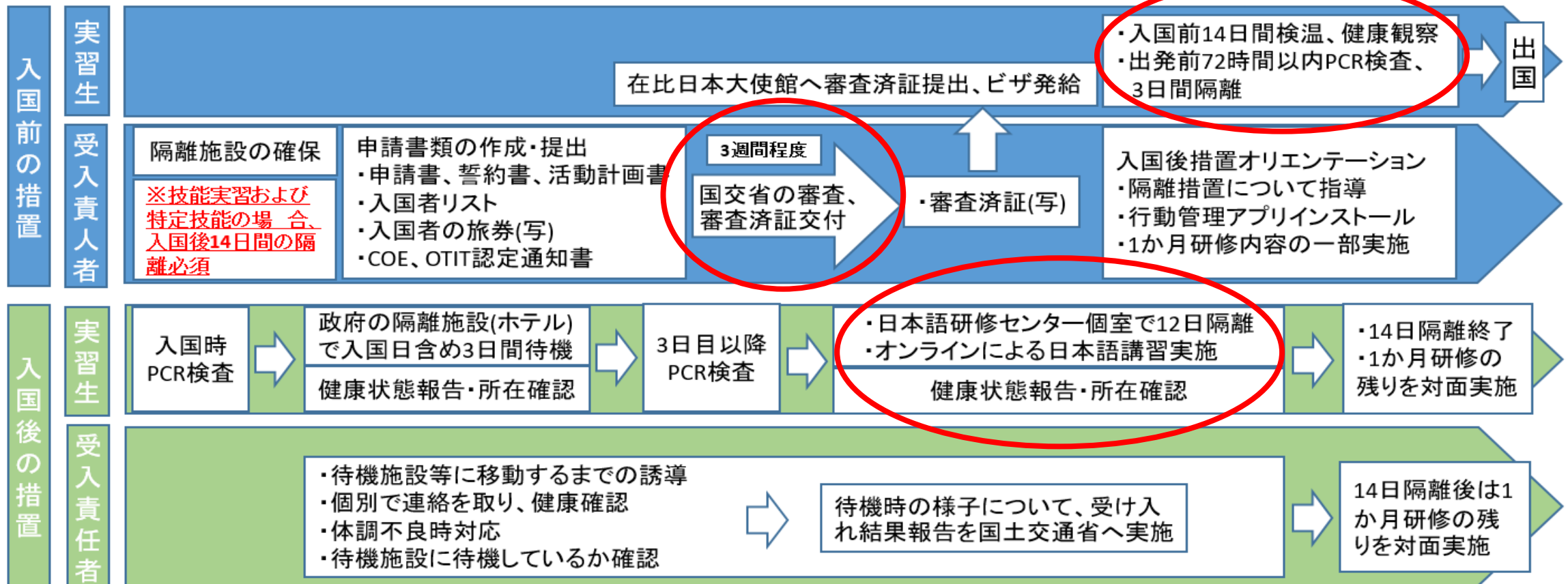
- ① パーペチュアル・ヘルプ大学
リチャード・モラン理事によるスピーチ
- ② パーペチュアル・ヘルプ・プレースメント・サービス・インターナショナル
マーク・カルロ・タマヨ社長兼CEOによるスピーチ

【2. 入国に関して】

【水際対策強化に係る新たな措置(19)の発表】

2021年11月5日、日本政府によって「水際対策強化に係る新たな措置(19)」が発表。これにより、技能実習生および特定技能外国人についても、1日あたりの入国人数を絞りつつ、段階的な入国が認められることになりました。

ただし、従来の入国手順に加え、以下の通り水際対策が必要となっております。



【2. 入国に関して】

【入国方針およびスケジュールについて】

①政府の決定に従い、COE(在留資格認定証明書)発行済みの技能実習生をまず入国させる

現時点でCOEが発行済みの実習生は、追加措置の国交省に対して入国に必要な審査済証の申請が可能となっており、すでにCOEが発行済みの33、34期生から順に入国させる手続きを進める予定です。

COEあり なし	バッチごと人数	国交省への審査済証 申請可能時期	仮入国予定	備考
COEあり	・33期生 11名	2021年11月以降	2022年2月7日	※AB中部販売の2名は旧AB愛知合併で再度COE申請のため、35期生と同時入国 ※AB南日本販売の1名は現地OJT欠席で未実施のため、OJT実施後、35期生と同時入国
	・34期生 18名	2021年12月以降	2022年2月21日 3月7日	※AB中部販売の3名は旧AB愛知合併で再度COE申請のため、35期生と同時入国 ※北日本ABの1名はパスポート更新のため35期生と同時入国
COEなし	・35期生 13名	未定 (2022年2月以降で政府 が決定)	2022年4月～5月	※特定技能については、POLO申請が完了していることが前提条件となる。 ※COEなしの追加措置の申請スケジュールは現在未定のため、入国予定は流動的です。
	・PJ AB-ME 6名			
	・特定技能 13名			

【2. 入国に関して】

【入国方針およびスケジュールについて】

②入国時の水際対策に伴う規制を考慮し、分散入国の方法をとる。

水際対策により、1日あたりの入国人数制限や、14日間の隔離措置等があるため、適切な隔離施設の確保が課題となります。追加コストを最低限に抑え、柔軟に入国時の隔離に対応するため、分散入国の方法をとります。

隔離施設については、千葉国際研修センターを予定しています。

1. 33期生 8名 (AB関東販売、ユーエイ、寿商事、
ピューマ、北日本AB)
仮入国予定：2022年2月7日(月)
2. 34期生 - A 6名 (ユーエイ、図南、AB熊本)
仮入国予定：2022年2月21日(月)
3. 34期生 - B 8名 (和希、トータルエース、シティ)
仮入国予定：2022年3月7日(月)
4. 35期生 - A 7名 (AB中部販売 33, 34, 35期生)
仮入国予定：2022年4月～5月

5. 35期生 - B 7名 (北日本AB 34, 35期生、
AB南日本 33, 35期生)
仮入国予定：2022年4月～5月
6. 35期生 - C 6名 (ピューマ、トータルエース、G-7)
仮入国予定：2022年4月～5月
7. プロジェクトAB-ME - 6名 (ユーエイ、AB7)
仮入国予定：2022年4月～5月
8. 特定技能待機組 - 13名 (ユーエイ、図南、中部販売、
寿商事、北日本AB、
AB関東販売<栃木、東京>)
仮入国予定：2022年4月～5月

【2. 入国に関して】

【入国方針およびスケジュールについて】

③ 入国に係る追加コストについては、原則受入法人負担とする

入国時の14日間隔離に伴う費用、航空券代の高騰等によって、実習生受け入れにおいて追加コストが発生することが見込まれます。こちらについては大変恐縮ですが、受入法人負担とさせていただきます。

実習生1人あたり追加コスト概算 ※今後のコロナウイルスの状況および政府方針によって変更の可能性有

追加コスト項目		追加金額	負担者	備考
入国前	出国前PCR検査	8,000円	受入法人	
	出国前3日間隔離	30,000円	受入法人	
航空券代高騰差額（マニラ→成田）		10,000円	受入法人	現状は通常価格+1万円見込み
入国後	入国後3日目PCR検査 入国後3日間隔離	日本政府負担	日本政府	
	個室での12日間隔離＋ 通常1か月の研修、食事	50,000円	受入法人	通常は約90,000円のところ、隔離措置によって約140,000円の見込み
	その他予備費	7,000円	受入法人	

追加コスト概算合計 ： 105,000 円

【報告事項】 3. 特定技能外国人の状況について

1) 特定技能の移行状況

2019年4月より開始された特定技能外国人制度について、オートバックスグループでは2020年1月修了の技能実習生23期生より移行を開始し、2021年度11月末現在で10法人／64名の外国人の方が就労しており、技能実習からの移行率は56.6%となりました。また、6月末時点でのフィリピン人の自動車整備分野の特定技能人数に対して33.5%を占めています。

期	移行年月	技能実習数	移行数	2021年11月末	移行率	備考
22期生	2019年9月度		1人	1人		
23期生	2020年1月度	9人	9人	9人	100.0	
24期生	2020年5月度	18人	7人	6人	33.3	1名更新時退職
25期生	2020年7月度	21人	13人	12人	57.1	1名更新時退職
26期生	2021年1月度	20人	8人	8人	40.0	
27期生	2021年7月度	18人	14人	14人	77.8	
28期生	2021年9月度	27人	15人	14人	51.9	1名期中退職
		113人	67人	64人	56.6	

		6月末	3月末	増減率	当社の割合
特定技能1号人数※ 令和3年6月末現在	自動車整備分野	348人	247人	140.9	18.4
	うちフィリピン人	188人	136人	138.2	33.5

※出典：出入国在留管理庁

【報告事項】 3. 特定技能外国人の状況について

2) 2019年移行説明会からの変更事項

2019年11月開催の特定技能移行説明会以降、基準・見解の変更や、コロナ禍の状況等により、一部、運用変更が発生しております。

- ◆ 技能実習から特定技能への移行期間での有給取得について
従来、特定技能の在留資格許可が出るまでの期間は無給での待機となっておりますが、入管および労基署より、法の趣旨としては有給を取得できないが、雇用が継続されており、労使が合意かつ両者いずれかに不利益をもたらさないものであれば、有給を付与しても問題が無いと見解を得ました。
- ◆ 移行後の住居の扱いについて
基準では住居は1人暮らしを推奨としていましたが、最近の申請では共同部屋でも許可が下りています。
- ◆ 移行時の一時帰国について
制度開始時は、フィリピン国の手続きが確定していなかった事や、コロナ禍により帰国が困難であった事により、技能実習修了後翌日より特定技能として就労していましたが、フィリピン海外労働事務所(以下、POLO)の手続きが開始された事により、基本は技能実習修了後、一旦帰国を行い、改めて特定技能として入国する手続きに変更予定です。改めてご案内いたします。
- ◆ 特定活動の在留資格申請について
本年度は、コロナ禍により申請手続きがに時間を要する事態となり、特別措置である特定活動の在留資格を介して特定技能の在留資格に移行していましたが、コロナの規制緩和に伴い、今後は、技能実習より特定技能へ直接移行の手続きを予定しています。

【3. 特定技能外国人の状況について】

3) フィリピン送り出し機関への管理料の取り扱いについて

◆ フィリピン送り出し機関への管理料の負担

フィリピン人材雇用の場合、一般的に受入企業は登録支援機関に対する支援委託料とは別に、送り出し機関に対して管理料が発生いたします。

パーペチュアルの送り出し機関からは、協力を頂き管理料を大幅にディスカウントすると共に、それをチェングロウスが負担することで、受入企業の負担を“0”としております。

〈ご参考〉

チェングロウスへの支援委託料について

チェングロウスでは、支援委託料として月額30,000円(税抜き)を頂戴しています。競合他社の料金を調査した結果、支援委託料の相場は月額15,000～30,000円となっておりますが、POLO申請手数料、定期面談・ガイダンス料、入管申請手続き料、四半期報告作成料等が、別途請求される設定となっており、5年間の総額では、当社の方が3割程度安くなっております。さらに、上記の送り出し機関への管理料も含まれておりますので、決して高額でないことをご理解願います。

現時点では支出過多の状況ですが、オートバックスグループの整備人材不足に向けて事業を整備していくとともに、チェングロウス、ASICが連携し共に効率化を図りながら、法人様の利便性の向上を目指して参りますので、ご理解の程お願い致します。

【報告事項】 3. 特定技能外国人の状況について

4) POLO申請の状況について

フィリピン人を特定技能で雇用する際、受入企業はフィリピン海外雇用庁（以下 POEA）への登録手続きが必要となりました。既に、12社の法人様が手続きを進めて頂いており、うち5社が登録を完了しています。これから申請される法人様への参考として状況を共有します。

◆ 申請手続きについて

法人様へ個別説明会開始後、許可が下りるまで6ヶ月以上を要しております。また、主に賃金の見直しにより、少なくとも2度以上の再申請手続きを行っています。さらに、完了された法人様のうち2社の経営者様がPOLOによる面談が行われました。

◆ 賃金の状況について

POLOより許可が下りた初任給(高卒4年目)の平均基本給額は193,420円、控除後の手取り額は140,802円です。また、控除額のうち居住費の相場は15,000円でした。

◆ その他懸念事項

POLOの許可が下りた法人様には、許可内容に基づき雇用条件書の見直しを行っていただいております。フィリピン送出し機関は、帰国後に就労者からの訴訟リスクとして、特定技能での就労開始時までに遡り、POLO許可後の雇用契約に基づき賃金の差額を要求する事を想定しております。しかしながら、日本での就労においては雇用契約書を締結しており、これを回避もしくは減額を図る為に、フィリピン海外雇用庁(POEA)からの情報収集を図ると共に、送出し機関に対して回避策についての交渉を行っております。本件につきましては、改めてご案内いたします。

【報告事項】 3. 特定技能外国人の状況について

5) フィリピン送出し機関からの値上げ案内

リチャードモラン氏より説明があった通り、フィリピン送出し機関より、フィリピン海外雇用庁(POEA)からコロナを含めた感染症予防対策が制度化され、追加対策費用分として紹介料の値上げおよび支払い方法の変更の案内がきています。

◆ 紹介料の変更

- 対象:30期生(2022年5月修了)以降より
- 変更額(1人あたり)

	パターン	変更前	変更後	備考
1	技能実習修了、特定へ移行	100,000円	120,000円	
2	技能実習修了・帰国後、特定技能で入国	140,000円	160,000円	今後主流
3	新規募集者	200,000円	220,000円	別途支度金要(160,000円)

◆ 紹介料の支払い方法の変更について

従来、POLOの許可後の請求でしたが、就労中の労働者分について、以下の通りに変更案内がきております。

- 技能実習プログラム修了後の翌月に紹介料の50%
- 受入企業がPOEAに登録・認定された後に紹介料の50%

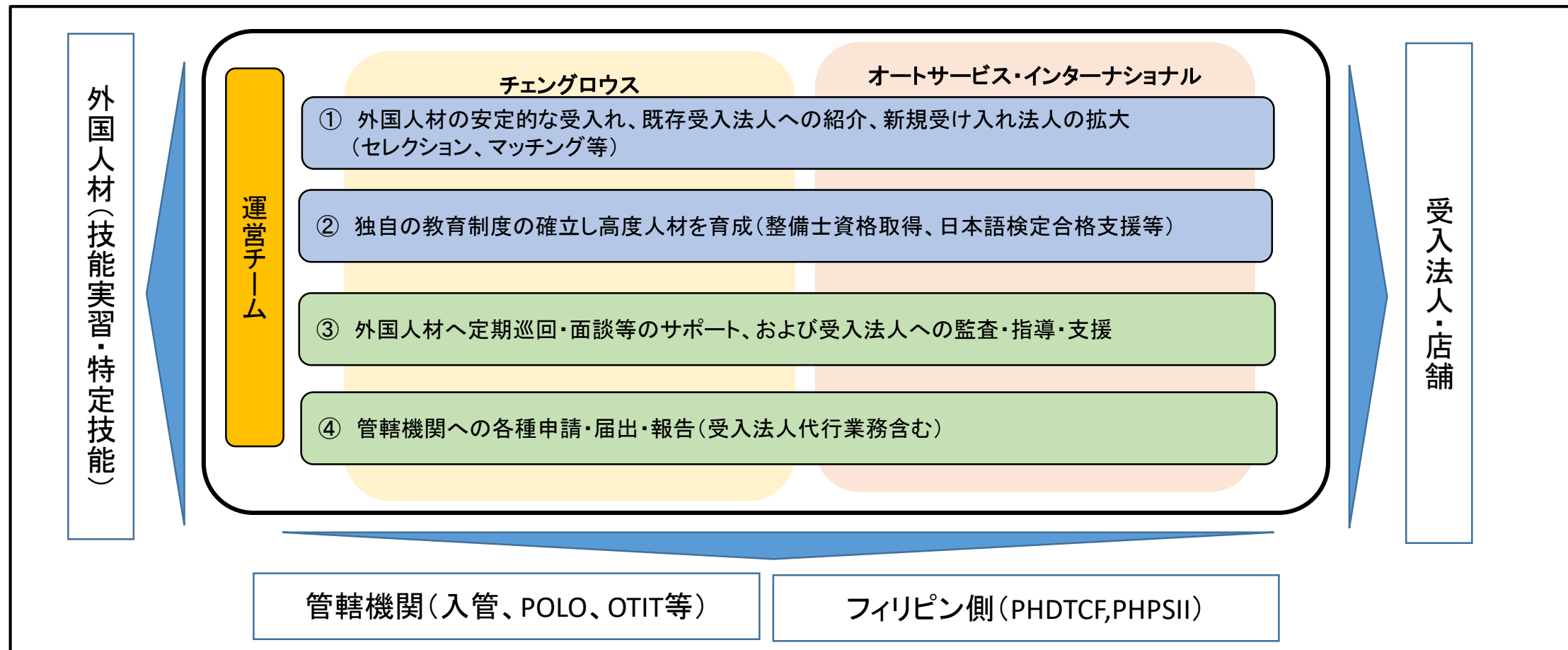
なお、海外送金が困難な法人様におかれましては、チェングロウスで振り込み代行を受けられます。

送出し機関より正式な文章が到着しましたら、ご案内いたします。

【4. 今後の体制】

チェングロウスとオートサービス・インターナショナルの新たな融合的連携体制

従来の3年と5年の役割分担から、8年間で視野に活動できる垣根を超えたチーム運営体制に移行する
2022年4月より本格稼働予定ですが、③定期巡回・面談等のサポート、監査指導支援については、12月より順次進めます。



【5. 新たな取り組み】

1. 整備士資格取得について

☒ **外国人向け3級整備士資格取得支援企画**

2. 日本語能力向上について

☒ **Eラーニングの導入について**

【5. 新たな取り組み】

■「外国人向け3級整備士資格取得支援企画」の導入背景

国内労働力市場における労働力の減少

日本人労働力が減少する状況下において、今後外国人労働力の市場価値が益々高まる



安定的な整備士人材の確保を見据え

日本人・外国人問わず、グループ内へ自動車整備従事者の安定的な確保へ
マインドの高い外国人労働者からも選ばれるグループ会社へ

【5. 新たな取り組み】

■「外国人向け3級整備士資格取得支援企画」の概要



短期講習前の定期研修で
必要な言語・知識を習得

日本人と同じ研修
研修中もサポート

【5. 新たな取り組み】

■「外国人向け3級整備士資格取得支援企画」の概要

①実地研修

STA千葉長沼にて開催

+

②オンライン研修

オンラインzoomにて開催

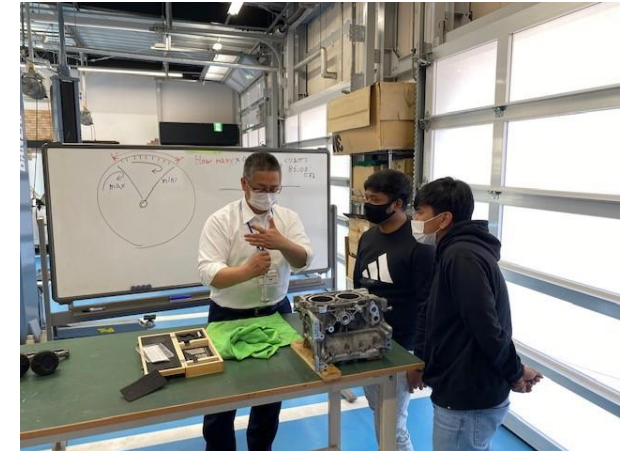
研修時のフォロー

- ① 1級整備士を講師とし、通訳の担当者を同席
自動車専門用語や理解度を深める為、言語面のサポートに注力

② 日本語のテキストに英訳を加えたきテキストを配布

追加フォローの実施

- ① 受講者ごとの理解度を確認し、必要に応じてオンラインにて補講
- ② 研修間の課題の配布、研修完了後の振り返り
- ③ 専門用語漢字の宿題、苦手な専門用語、漢字習得



【5. 新たな取り組み】

■「第1回外国人向け3級整備士資格取得支援企画」で2名の方が合格！

株式会社ピューマ
セバスチャンさん
スーパーオートバックス富山南



元々自動車が好きだったが、今回の資格取得に際し、自動車の基礎知識を学び、より一層、自動車への関心が沸いた。
知識を得て、業務を遂行する上でもとても自信になり、業務への向上意識をより一層持てるようになった。

株式会社オートバックス関東販売茨城カンパニー
ロベルトさん
オートバックス水戸・バイパス店



本企画に参加前は、日本語に対する不安が大きく、参加を躊躇したが、参加をして無事合格出来てよかった。
今回自動車に関する知識を学んだことで、日頃行っている業務・作業の重要性の理解を得る事が出来た。
理解をして作業を行う事で正しい作業の実施、**お客様への説明にも非常に役立つと感じている。**

【5. 新たな取り組み】

■ 今後の「外国人向け3級整備士資格取得支援企画」について

本企画は継続します

今回の成功例から蓄積したノウハウを活用し、継続的な外国人向け3級整備士資格取得の支援を継続します。
将来に向け、戦力となる「整備士・整備従事者」の育成に取り組み続けます。

本企画を通して、外国人人材の戦力化を進めます

特定技能外国人と同様に、技能実習生も本企画参加対象とし、
技能実習3年＋特定技能5年を活用したの中期戦力人材育成のシステムを構築します。

整備士資格を取得するために必要不可欠な、日本語能力向上支援

整備士資格を取得する上で、高度な日本語能力は必要登録支援機関の外国人への日本語支援の一環とし、
E-ラーニングを活用した日本語能力向上支援を開始いたします。(次ページ以降参照)

【5. 新たな取り組み】

■ 日本語能力向上について

ABグループ内の技能実習生・特定技能外国人の日本語能力現状

バッチ		N2	N3	N4	N5	なし	総計	特定技能
特定技能	22	1					1	
	23		4	3	2		9	
	24			2	4	1	7	
	25		1	6	2	2	11	
	26		2	4	2		8	
	27		1	5	7	1	14	
	28			6	6	3	15	
	その他		1				1	
	特定技能計	1	9	26	23	7	66	
	構成比	1.52%	13.64%	39.39%	34.85%	10.61%	100.00%	
技能実習	29			9	11	5	25	技能実習
	30		1	9	6	1	17	
	31		1	3	11	6	21	
	32			2	17	5	24	
	実習生計	0	2	23	45	17	87	
	構成比	0.00%	2.30%	26.44%	51.72%	19.54%	100.00%	
総計	人数計	1	11	49	68	24	153	N4以上 54.55% N5以下 45.45%
	構成比	0.65%	7.19%	32.03%	44.44%	15.69%	100.00%	

【5. 新たな取り組み】

■ 日本語能力向上について

日本語能力改善プログラム **2022年3月よりプログラムを開始予定**

呼称：J-SkIP (Japanese SkilImprovemet Program：)

実施事項

- ・Eラーニング教材を導入します (6か月間契約：**9,108円**、受講者負担推奨)
- ・**学習目標計画**を提案します
- ・学習の**進捗状況**を受講者に伝達し、計画に沿った**学習を促します**
- ・模擬テストを**定期的に受験**頂き、能力の向上度合いを確認できる
- ・取組状況は必要に応じ、法人様にも**共有**いたします

**外国人人材の日本語能力向上、店舗での戦力アップにぜひご活用下さいませ！
受講者からの個別申し込みはもちろん、法人様からの一括申し込みも承ります！**

【5. 新たな取り組み】

■ 日本語能力向上について

日本語能力改善プログラム **2022年3月よりプログラムを開始予定**

呼称：J-SkIP (Janese SkilImprovemet Program :)

■ 使用するEラーニング教材

日本で働く外国人のための日本語e-ラーニング講座



① 充実した試験対策コンテンツ

② 日本語レベルに応じた学習内容の提供

③ 学習の進捗を定期報告